

三木市教育大綱（案）に対する意見等の要旨及び意見等に対する市の考え方

	ご意見等の要旨	大綱の該当項目	市の見解
1	<p>○英語教育の推進について</p> <p>① 義務教育9年間を見通した英語教育は、国際社会での生きる力と思うが、一方で総合的な学習の時間が減ってしまうことが残念である。</p> <p>② 英語教育を小中連携して推進にあたり、系統性、連続性のある教育が大切であるが、小学校の各学年で何を学ぶのか。</p> <p>③ 英語検定は、費用のかかるため家庭によって機会均等が奪われないか心配する。</p>	<p><b>基本目標①</b> 学校・家庭・地域が一体となって、豊かな心を基盤として学力を育むとともに、国際感覚を持ったグローバル人材を育てます。</p> <p><b>基本方針3</b> グローバル人材を育成する教育の推進</p> <p><b>施策1</b> 話せる英語教育の推進について</p>	<p>① 本市が進めている「話せる英語教育」は、総合的な学習を英語学習の時間に置き換えるものではなく、例えば音楽の時間に英語で歌うなど、現在の教育活動の目標を達成しつつ、英語での活動を取り入れていきます。</p> <p>② 現在、各学年の教育内容のモデルを作成しています。今後も本市が進める小中連携の取組を継続するとともに、各校での「話せる英語教育」の実践を参考にしながら、各学年の教育内容についても充実を図ります。</p> <p>③ 児童生徒が目標を持ち、自らの修得状況を実感できる指標の一つとして英語検定やスピーチコンテスト等を奨励・活用する予定です。費用の保護者負担の軽減については、ご意見を踏まえ、検討してまいります。</p>
2	<p>○歴史資料館を拠点としたまちの活性化について</p> <p>「歴史資料館」を中心に、「ナメラ商店街」、「旧小河家別邸」、「旧玉置邸」ほか社寺等周辺観光施設を繋げ、「活きた</p>	<p><b>基本目標③</b> 人権尊重のまち、文化やスポーツのまちをめざし、生涯にわたって学び活動できる環境づくりを進める。</p>	<p>いただいたご提案は、教育大綱に記載した城下町エリアを大きな博物館に見立てた「歴史・美術の杜構想」を推進することと意を同じくするところです。</p> <p>「歴史資料館」を中心としたまちの活性化やにぎわいづくりなど、今後のまちづくりを</p>

	<p>歴史展示場」とする。</p> <p>① 金物資料館、堀光美術館、歴史博物館を一体的に利用し常設展示、展覧会、体験・学習の場とする。</p> <p>② ナメラ商店街を三木金物など特産品に特化した商店街とする。</p>	<p><b>基本方針 3</b></p> <p>「生きがいとうるおいを感じる文化の育成」</p> <p><b>施策 1</b></p> <p>地域の文化資源を活かした文化の振興</p>	<p>進めていく上でご提案を参考にさせていただきます。</p>
<p>3</p>	<p>○地方創生を進めるにあたっての教育視点</p> <p>三木市創生計画を進めるにあたり、「若者に気持ち良く働く場」の提供が唯一の方策である。</p> <p>そのための教育視点として、</p> <p>① 三木市が世界に誇れる金物産業、山田錦、勇壮な屋台祭りなどを含めた市内の産業やふるさと財産を電子化し教育に活用する。</p> <p>② 教育大綱は、理数教育を最優先方針として強力に推進する。</p> <p>理数教育に裏打ちされた高度若年人材を市内各所に配置することでIT産業の誘致等を行い、若者に働く場を提供・定住の魅力を与える。</p>	<p><b>その他</b></p>	<p>教育大綱では、理科、算数・数学を含めた「確かな学力」の向上を図るとともに、ふるさと教育を充実することで、子どもたちの郷土愛を育むこととしています。三木市創生計画でも、質の高い教育による次世代育成や若者が働きやすい、働きがいのあるしごとづくりを柱の中に掲げております。</p> <p>創生計画を基軸として、教育大綱を具現化した施策を力強く推進することで、優秀な人材が地元三木に住み、三木で働くことができるよう理数教育をはじめ、質の高い教育を進めるとともに、若者に魅力あるしごと創りを進めます。</p>